

3 報告事項（1）ア G I G Aスクールサポーター運用状況（令和3年度1・2学期）

1. これまでの運用方針等

【1学期】

リーダーを除く10名が小・中・特別支援学校（分校2校含む）及び前橋高校の合計70校を分担して担当する体制をとった。一番多いサポーターで8校を受け持ち、週1回半日～1日の訪問を基本とする体制であった。リーダーはフリーで動けるようにし、必要に応じて学校やサポーターの支援を行ったり、資料等の作成を行ったりすることとした。

【10月以降】

6名増員されたため、担当校を再編成して訪問計画を改善した。一番多いサポーターでも5校の受け持ちとなったため、週1日以上訪問を基本とする体制を整えることが可能となった。

2. 実際の支援内容の具体例

- ・授業時におけるICT活用支援や児童生徒への操作支援
- ・児童生徒用タブレットにおける不具合等の初期対応
- ・Google Classroom のクラス作成及び活用支援
- ・リーダーによる校内研修支援（R3年度はこれまでに22回実施）
※指導主事や養護教諭対象の研修も含む
※内容は主にミライシードやGoogleの活用研修等

3. 学校に行ったアンケートの主な回答内容

- 小学1年生の端末配付時の支援やclassroomのクラス作成や活用に関する支援が「効果的であった」と回答した割合が高い。
- 「学校の要望によく応えたり、丁寧に対応していただいたりし、とても助かった。」といった趣旨の意見が多い。
- 「学校の活用体制や行事等との日程が合わず、活躍の場を設定できない日があった。」といった趣旨の意見も散見された。
→ 来年度は要望に応じた訪問体制も必要か

4. 令和4年度の方針

国のG I G Aスクール運営支援センター事業の整備に伴い、本市でもその要件を満たした体制を整えることとしたい。